

# 2023年度 事業報告書

特定非営利活動法人 ひらかた環境ネットワーク会議

## I 事業実施概要

昨年5月、3年以上続いた新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが、5類感染症に変更され、私たちの暮らしも日常を取り戻し、当法人の活動も用心はしつつも以前のように様々な取り組みを展開することができました。とは言え、“失われた3年”の影響は大きく、各イベントへの参加者は、以前のように「どのイベントにもたくさんの参加者が」といった状況にはなりません。しかし、昨年9月30日に一堂に会しての「バス！のってスタンプラリー」を3年ぶりに実施したところ、約400名の参加者があり、多くの方から楽しみにしていただいている取り組みであることを改めて感じさせられました。また今年2月に開催した「ひらかたエコフォーラム 2024」は、前回は上回る多くの来場者があり、「コロナ明け」を感じることとなりました。一方、当法人が最も力を入れて取り組んでいる「地球温暖化対策事業」ですが、“環境家計簿 我が家のエコノート”をはじめ、「エコ行動宣言」「ごみ減量推進事業」の取り組み、さらに環境教育部会で行われている「環境出前授業」による“啓発事業”、そして自然エネルギー部会での「再生可能エネルギーの啓発・利用促進」の取り組みなど、そのいずれもが、温暖化対策に繋がる事業として進められ、確実に成果を上げています。

しかし、引き続きの課題である会員拡大については、未だ大きな進展を見るには至っていません。自然エネルギー部会による五六市でのPR活動が、いずれ成果に繋がっていくと期待するところです。

## II 事業の実施に関する事項

### 【1】特定非営利活動に係る事業

#### 1 地球温暖化対策事業

昨年に引き続き地球温暖化対策事業として、温暖化ミーティングでの話し合いをもとに、次にあげる各事業に取り組んだ。

【対象者】市民、事業者、行政

【予算】507,000円（収入実績：協賛金210,000円）

【支出】490,955円

【協賛】株式会社コマツ、京都信用金庫枚方支店、株式会社ホワイトマックス、大阪ガス株式会社、恩地食品株式会社、関西リサイクルシステムズ株式会社、農園 杉・五兵衛、呼人堂、株式会社たまゆら、枚方自動車教習所、生活協働組合おおさかパルコープ、北村みそ本家、日立造船株式会社

#### (1) 温暖化対策推進チームミーティング開催事業

月に一回、市民、行政、事業者で構成されたメンバーが集まり、地球温暖化対策についての事業・取り組みを検討・検証を行った。

＜枚方市地球温暖化対策事業推進チーム会議＞

回	日程	時間	場所
第1回	2023年 4月11日（火）	10:00～11:20	環境情報コーナー
第2回	2023年 5月9日（火）	10:00～11:40	環境情報コーナー
第3回	2023年 6月12日（月）	10:00～11:30	環境情報コーナー
第4回	2023年 7月18日（火）	10:00～11:50	環境情報コーナー
第5回	2023年 9月7日（木）	10:00～12:00	環境情報コーナー

第 6 回	2023 年 10 月 10 日 (火)	10:00～12:00	環境情報コーナー
第 7 回	2023 年 11 月 15 日 (水)	10:00～11:30	環境情報コーナー
第 8 回	2023 年 12 月 18 日 (月)	10:00～11:30	環境情報コーナー
第 9 回	2024 年 1 月 18 日 (木)	10:00～11:00	環境情報コーナー
第 10 回	2024 年 2 月 19 日 (木)	10:00～11:30	環境情報コーナー
第 11 回	2024 年 3 月 18 日 (月)	10:00～11:30	環境情報コーナー

## (2) 「我が家のエコノート」普及事業

事業開始から 9 年が経過した。エコノートを環境情報コーナー持参される方との会話から、省エネや環境問題についての様々な意見・考えを聞くことができ、またそうした中で得られた情報を発信することで広く啓発活動に繋がった。

【対象期間】 2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

【受付期間】 2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

【応募総数】 延べ参加者数：323 名

延べ提出枚数：4,763 枚

今年度参加者数：134 名(新規参加者：15 名) 今年度提出枚数：483 枚

今年度配布枚数：約 1,200 枚

【後 援】 枚方市

## (3) ごみ減量推進事業

### ①リユースコーナーの管理運営事業

2019 年にスタートしたリユースコーナーは順調に利用されている。この取り組みは目に見えてわかりやすく、来訪者から「保育所へ行くので、着替えがいっぱいいるので助かります」「誰かに使ってもらえるなら嬉しいです」等の声を聴くことができ、このコーナーが有効であることが感じられ、提供する側、提供を受ける側、双方にとっていい取り組みになっている。

【対象期間】 2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

【登録者数】 370 名(新規 63 名)

【利用者数】 今年度 442 名(累計 2155 名)

【利用点数】 今年度 2310 点(累計 11,153 点)

### ②プラごみダイエット推進事業

前年度の、プラごみダイエット生活の取り組みにおけるアンケート調査の結果を踏まえ、プラごみダイエットの取り組みを更に進めようと、今年度は「ひらかたみんなでエコ宣言」として“プラスチックを悪者にしない”“減らせるプラスチックは減らす”を基本的考えとし、プラごみダイエットに繋がる 5 項目を宣言項目に挙げて取り組んだ。

【対象期間】 2023 年 6 月～2023 年 12 月 31 日

【受付期間】 2023 年 7 月～2023 年 12 月 31 日

【応募総数】 692 名(応募用紙 配布数：26,300 部)

【共 催】 枚方市

【後 援】 枚方市教育委員会

【協 力】 枚方市地球温暖化対策協議会

## (4) エコ行動宣言事業

2018 年度から実施してきた当事業は、“日常におけるエコな行動”をチェックし、出来ていないことを「する」と宣言するものであった。「マイカー使用を控える」「テレビをつけっぱなし

にしない」という項目についてはまだまだ出来ていないと言う課題はあるものの、“日常におけるエコな行動”は概ね定着してきたことを以って、昨年度のチェック項目による「エコ行動宣言」を終了し、今年度は、上記(3)の②の事業として取り組んだ。(詳細は該当箇所参照)

## (5) CO<sub>2</sub>排出削減事業

CO<sub>2</sub>削減啓発ポスターを活用し情報発信をする計画であったが、十分活用しきれなかった。

## 2 環境講座開催事業

今年度も環境活動に取り組む市民の輪を広げるため、下記3講座を実施した。

### (1) 自然エネルギー普及啓発事業「自然エネルギー学校 2024」開講

【予算】 95,000 円 (収入実績 : 20,000 円)

【支出】 108,610 円

2050年カーボンニュートラル社会の実現についての意識啓発としてバス見学会を実施した。再生可能エネルギー(太陽光、水力等)の具体的な導入事例を「見て」「聞いて」「知る」ことを通じて、その重要性、必要性を再認識する機会とすると同時に、この機会を活用し「省エネルギーの実践、ゴミの削減(4Rの推進)、再生可能エネルギーの導入」に係る勉強会も行った。

【開催日時】 2024年3月15日(金)

【見学場所】 枚方ソラパ(枚方市大型太陽光発電) 奈良県桜井浄水場の水力発電  
桜井市グリーンパークのバイオマス(廃棄物)発電  
桜井市 倉橋溜池堤防のり面の太陽光発電

【勉強会開催場所】 奈良県桜井浄水場

【参加者】 23名

また自然エネルギー普及啓発の一環として次の2つにも取り組んだ。

- ① 2023年「地球沸騰化」という言葉が世界を駆け巡った。一刻も早く化石燃料から再生可能エネルギーへとシフトし、この言葉が「使われない」状況にしなければとの思いで、「若い人達との意見交換」を実施した。(詳細はくらわんか塾の箇所参照)
- ② 「自然エネルギーの重要性」や「市民として出来る温暖化ガス排出削減の実践」に係る意識の共有を図るため、市内で開催される「五六市」の会場等を活用し、アンケート調査やパンフレット配布を計4回実施した。こうした街宣活動を通じて、「温暖化対策や自然エネルギー普及」について、多くの市民の方の声・考えを聞くことができた。

実施日	アンケート参加人数(人)	リーフレット配布数(枚)	実施場所	(備考)
2023年9月10日	67	300	五六市会場	
11月12日	42	300	同上	
2024年1月14日	13	300	同上	
2月10日	28	約250	サブリ村野	(エコフォーラム時)

### (2) 環境活動スターター講座の開講事業

環境への関心を持ってもらうきっかけとするためのミニ講座、環境の身近でホットな話題を少し掘り下げておしゃべりしようというスタイルの環境ティールームをそれぞれ、月一回のペースで開講した。

【予算】 16,000 円 (収入実績 : 34,900 円)

【支出】 35,849 円

【対象者】市民・事業者

<環境ミニ講座> 全8回実施 115名参加

実施日時	実施内容	参加者数
2023年6月22日(木)13:30~15:00	エコクッキング 「夏を先取り!ひんやりデザート」	6
7月22日(土)13:30~15:00	「ソーラーミニカーでエネルギーを学ぼう!」	32
8月19日(土)10:30~12:00	「天の川を遊ぼう!」	40
9月21日(木)13:30~15:00	エコクッキング 「秋の味覚を食べ尽くす!~白玉・豆腐団子~」	11
10月26日(木)13:30~15:00	どんぐりクラフト「秋をお部屋に」	4
11月30日(木)13:30~15:00	エコクラフト 「お正月のしつらえを手作りで」	7
2024年1月25日(木)13:30~15:00	エコクッキング 「なんちゃってティラミスでバレンタイン」	10
2月22日(木)13:30~15:00	エコクラフト 「牛乳パックで作る小物アラカルト」	5
合 計		115

<環境ティールーム> 全8回実施 21名参加

実施日時	実施内容	参加者数
2023年6月8日(木)10:30~12:00	アップサイクル、ダウンサイクル サーキュラーエコノミーって何のこと?	3
7月13日(木)10:30~12:00	再生可能エネルギー100%社会は可能か?	3
8月10日(木)10:30~12:00	原発再稼働と期間延長を考える	0
9月14日(木)10:30~12:00	プラスチック海洋流出「ゼロ」合意はいいけれど …実現の可能性は?	4
10月12日(木)10:30~12:00	電力自由化を振り返る	1
11月9日(木)10:30~12:00	大規模森林火災と温暖化	2
12月14日(木)10:30~12:00	環境に優しいを考える	1
2024年2月8日(木)10:30~12:00	ごみの分別のウソ・ホント	7
合 計		21

### (3)環境講座「くらわんか塾」開講事業

2023年「地球沸騰化」という言葉が世界を駆け巡った。一刻も早く化石燃料から再生可能エネルギーへとシフトし、この言葉が「使われない」状況にシフトしてはならない。このような背景の中、若者はこの状況をどのように捉え、この問題をどう考えているのかを聞こうと、学生4名をパネラーに招きパネルディスカッション形式で意見交換を行った。この取り組みを通して、地球温暖化や、環境問題に対する意識・考えの相互理解をする一歩となった。

【内実施日】2023年8月9日(水) 10:30~12:00

【参加者数】27名

【対象者】市民

### 3 中間支援事業

当法人の会員団体をはじめ、会員でない団体の活動支援としてチラシやポスターなどの制作支援や、活動についての相談業務などを行った。また、団体や個人、学校で取り組まれている「エコ

キャップの回収」支援として、回収されたエコキャップの中間回収拠点の役割を担い、最終受け入れ事業者への搬入を行った。こうした支援をすることで、環境活動の輪を拡げ、環境施策推進へとつなげた。

【予 算】 50,000 円（収入実績：事業収入 111,000 円）

【支 出】 102,102 円

#### (1)環境団体活動交流会開催事業

交流会という形の取り組みはできなかったが、村野サプリにて BiwaYodo 水系環境クラブのイベント開催相談とそのイベントに参加し交流を行った。また枚方里山の会の環境学習についての相談等を通して、他団体との交流の輪が広がった。

#### (2)環境団体活動支援事業

##### ① エコキャップ等回収支援事業

【事業期間】 2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

【実施場所】 サプリ村野環境情報コーナー および 市内学校・施設など

【対 象】 市内全域

【回 収 量】 個数 172,000 個 （取り組み開始からの累計 3,883,674 個）

重量 400 k g （取り組み開始からの累計約 9.3t）

【CO<sub>2</sub>削減量】 約 1.3 t （取り組み開始からの累計 28.5t）

【運搬回数】 処理業者への運搬 3 回（軽トラック）（10/16、12/19、3/19）

【支援団体・事業所】 楠葉西中学校、なぎさ西中学校、招提中学校、桜丘中学校、

西牧野小学校、山田東小学校、枚方高校、京都信用金庫、なごみの里

※山田東小では、エコキャップ回収時に、学校からの依頼により 4 年生を対象に、プラスチックについて、30 分程度の環境講座を行っている。今年度は 3 月 12 日に実施

##### ② 他団体活動支援事業

下記各種団体・個人からの相談業務、部屋の貸出業務をおこなった。また、枚方市民菊人形の会のカレンダーや菊花展のポスターなど印刷物の製作をはじめ、琵琶湖淀川流域圏連携交流会の HP 管理・チラシ作成・事務局業務を行った。

【支援団体・事業所】

琵琶湖・淀川流域圏連携交流会、NPO 法人森林ボランティア竹取物語の会、枚方里山の会、枚方市子育て支援室、ひらかた市民菊人形の会、枚方市菊花展実行委員会、いきもの調査会、里親支援機関おひさま、一般財団法人環境事業協会、琵琶湖・淀川・大阪湾流域圏シンポジウム実行委員会、琵琶湖・淀川流域圏河川フォーラム実行委員会、株式会社エコスタイル

※ 今年度枚方里山の会の相談業務の流れの中で、温暖化についての話を聞きたいとの依頼があり、3 月 13 日に講演を行った。参加者は 13 名

#### 4 ひらかたエコフォーラム開催事業

サプリ村野での開催が 2 回目となった今回は、緑のカーテン表彰が前年 11 月に開催された「ひらエコ祭り」で行われ、また、「バスのってスタンプラリー」の当選者発表もなかったため、前段の表彰関連の時間が短縮され 13 時で終了することとなった。時間的にタイトではあったが、環境表彰と温暖化対策の取り組み報告の後、講演会を実施。講師に環境省近畿地方環境事務所の阪本悠佑氏を迎え、「脱炭素社会実現のためには」をテーマに講演いただいた。講演後に質疑応答と意見交流を行ったが参加者には好評だった。また、北館 1 階と南館 2 階の

ブース展示とクイズラリーは例年通り「関西リサイクルシステムズ株式会社」「天の川を清流にする会」「NPO 法人 森林ボランティア竹取物語の会」「当法人のブース」「リユースコーナー」の参加を得て盛会裏に終えることができ、来場者への環境意識啓発になった。

【開催日時】2024 年年 2 月 10 日(土)10:00～13:00

【会 場】サプリ村野

【来場者数】延べ 264 人

【共 催】NPO 法人ひらかた環境ネットワーク会議、枚方市

【協 賛】株式会社コマツ、京都信用金庫枚方支店、株式会社ホワイトマックス、大阪ガス株式会社、恩地食品株式会社、関西リサイクルシステムズ株式会社、農園 杉・五兵衛、呼人堂、株式会社たまゆら、枚方自動車教習所、生活協働組合おおさかパルコープ、北村みそ本家、日立造船株式会社

【対 象 者】市民、事業者、行政

【出展団体】天の川を清流にする会、関西リサイクルシステムズ株式会社、NPO 法人森林ボランティア竹取物語の会、淀川管内河川レンジャー、NPO 法人ひらかた環境ネットワーク会議

【予 算】194,800 円

【支 出】147,578 円

## 5 環境情報コーナーの運営等業務委託事業

本年度も契約書記載の業務内容を滞りなく行った。

【予 算】280,000 円（収入実績：委託料 280,000 円 但し人件費は除く）

【支 出】255,328 円

### (1)環境情報コーナーの管理運営事業

コロナが5類に引き下げられたこともあり、今年度の利用状況は昨年よりさらに増えたとはいえ、まだコロナ前の状況には至っていない。しかし各種取組の受付業務、緑のカーテン業務はほぼ通常通り行うことができた。特にリユースコーナーは今年度の新規登録者が63名あり、総登録者数は370人となった。また、環境情報の発信ツールも新しく作成するとともに、楽しんで環境が学べるクイズBOXを作成するなど環境意識の向上を目指し啓発に努めている、

【事業期間】2023年4月1日～2024年3月31日

【実施場所】サプリ村野南館2F 環境情報コーナー 環境保全研修室

【対 象 者】市民、活動団体、事業者

【環境情報コーナー各種利用状況】(2024年3月末現在)

	延べ利用数
環境情報コーナー	大人 1407 人 子ども 671 人 計 2078 人
環境保全研修室	103 回 1312 人
エコドライブシュミレーター	49 回
省エネナビ貸出	7 台貸し出し中

### (2)緑のカーテン事業・ゴーヤの苗配布事業

毎年実施している 枚方市の「緑のカーテンモニター」の受付、苗の配布および報告書回収業務を今年度も請け負った。今年の参加者は160名。苗を各4株配布し、8月にその報告書の

回収業務を行った。併せて、「マイゴーヤづくり」をサプリ村野で実施し、緑のカーテン作りを体験する機会を設け、普及に努めると共に、環境情報コーナーの周知及び環境に関心を持ってもらう機会とした。「マイゴーヤづくり」では2週間に一度のお世話活動を通して、参加者同士の交流が深まった。また、世話活動終了後に、その折々に話題となっている環境問題や環境関連のニュースについて、15分程度、話をさせていただき、意見交流も行うことで参加者の環境意識啓発とする機会にもなった。

【事業期間】2023年5月～2023年10月

【実施場所】サプリ村野南館2F 環境情報コーナー 環境保全研修室

【対象者】市民

- ・緑のカーテンモニター：参加者160名、報告書提出枚数：102枚
- ・MYゴーヤ登録者：16名、活動回数：10回、延べ参加者数：96名

## 6 総会及び会員交流会等開催事業

5月に新型コロナウイルスの5類への引き下げがなされたため、久々に対面での開催とした。しかし用心してか、委任状や議決権行使書による出席が多かった。議案はすべて承認された。

### 《通常総会》

【開催日】2023年年5月27日（土）

【場所】サプリ村野南館2階 環境保全研修室

【内容】令和5年(2023年)度通常総会 10:30～11:25

出席者数：57名/正会員数：78名（本人15名、委任状27名、議決権行使書15名）

議 題：第1号議案 2022年度事業報告書案承認の件  
第2号議案 2022年度活動計算書案承認の件  
第3号議案 2023年度事業計画書案承認の件  
第4号議案 2023年度活動予算書案承認の件

【対象者】会員

【予算】30,000円

【支出】27,421円

## 7 広報事業

広報事業として会報誌の発行、HPの管理運用に加え、インターネットの情報ツール等を活用し、情報発信を行った。

【予算】240,000円

【支出】279,886円

### (1) 会報誌「環境ひらかた」発行事業

今年度も遅滞なく年4回発行できた。この会報誌は、当団体の取り組みや活動、環境の課題等をわかりやすく発信するため毎号工夫を凝らして作成している。会員や会員以外の関係団体・事業者にも配布するとともに、生涯学習市民センター・図書館等公共施設にも設置・配布し、広く市民の方にも読んでいただけるようにしている。

【発行部数】 3,200部(A4版8ページ、全面カラー刷り)

No.77 春号 2023年4月1日発行 700部配布

No.78 夏号 2023年7月1日発行 800部配布

No.79 秋号 2023年10月1日発行 900部配布

No.80 冬号 2024年1月1日発行 800部配布

【対象者】 会員、市民、事業者

## (2)HPの管理運営事業

講座のお知らせや活動報告を中心に日々更新を行っている。

【アクセス数】 18,672件 (昨年16,350件)

【対象者】 会員、市民、事業者

## (3)その他の広報活動

NPO フェスタや五六市、コマツフェスティバルに参加し、当法人や、カーボンニュートラル、プラごみダイエットについてのPR活動を行った。

### ≪情報紙・WEB掲載≫

情報誌：枚方市広報・枚方子育て通信 Haru

WEB(インターネット上の情報サイト)掲載：枚方市公式 FB

### ≪街宣・他団体主催によるイベント参加≫

五六市、コマツフェスティバル、NPO フェスタ、ひらエコ祭り

## 8 モビリティ・マネジメント事業

“モビリティ”すなわち、“移動”の状況(移動手段等)が、個人にも社会にも望ましい方向に向くよう(環境に負荷をかけないなど)、そしてそれが自発的・主体的に行われることをめざし、それらを促す取り組みとして下記の事業を行った。

【予算】 950,000円(収入実績：事業収入 1,105,840円)

【支出】 613,434円

### (1)「ひらかた交通タウンマップ」作製配布事業

公共交通情報を伝える事で、公共交通の利用促進を図り、車社会がもたらす環境負荷を少しでも減らすことを目的に、今年も転入者向けに「ひらかた交通タウンマップ」を配布した。このマップの裏面には、電車やバスのお得で便利な利用方法をわかりやすく解説しており、転入者に限らず広く市民に役立つものとなっている。そのため、転入者以外にもマップを希望する人も多く、要望に応え図書館や環境情報コーナーにも設置し、希望者には随時無料でお渡しした。また、枚方市駅構内にも随時配架してもらえた。

【対象者】 市民

【内容】 マップの更新2回12,000部(12月：3,000部発行(内訳：枚方市3,000)、3月：9,000部発行(内訳：枚方市7,000部、環境ネット20,000部) A1版A4仕上げカラー両面刷り)

### (2)公共交通利用促進事業

#### ① 「第33回 バス!のってスタンプラリー スイーツGO!3」の実施

未来にも環境にやさしい公共交通が私達の足として存続し、まちの活性化を維持できる社会の実現のため、公共交通利用促進施策として実施。そのために、まず乗り方を学ぶ機会の提供として本事業を実施した。アンケートでは今後バスを利用したいという声が多く寄せられ取り組みの効果が見て取れた。また枚方市の地域魅力発信の一助ともなるようスイーツをテーマにしたが、参加者に好評であった。

【対象者】 市民



【開催日時】2023 年年 9 月 30 日（土） 8：30～16：00

【参加者数】382 人（大人 207 小児 126 幼児 49）

【共 催】枚方市、京阪バス株式会社

【協 力】

＜スタンプポイント＞

果実大福壺、御菓子司九十九堂、菓楽、べいく堂、茶通仙多田製茶、大黒屋大峰本店、パティスリーアルル、Three-K、九十九堂本舗、呼人堂、ほくとのおうち、市立枚方宿鍵屋資料館、くらわんか餅巴堂、わらび屋本舗、雀躍堂、御菓子司翁堂

＜景品協力＞

Mizkan、ブルーミッシュ、雀躍堂、茶通仙多田製茶、果実大福壺、大黒屋大峰本店、枚方市文化観光協会、京阪バス

## ②「ひらかた交通すごろく」の活用

スタンプラリー会場で、13 時～15 時の 2 時間、実施した。

## ③交通タウンマップの普及促進の取り組み

八幡市への働きかけを行った。

## ④バスバックヤードツアーへの協力

【開催日時】2024 年 1 月 27 日（土）28 日（日）

【参加者数】合計 42 世帯（118 人 内小学生 50 人）

【内 容】「未来発見！ひらかたチャレンジ バスバックヤードツアー」を、枚方市が「枚方市子ども夢基金」を活用して実施。京阪バス枚方営業所で、非常口からの脱出体験や、バスに乗ったままの洗車体験など。

27 日 午前 10 時 枚方市駅発：12 世帯（29 人 内小学生 12 人）

午後 2 時 樟葉駅発：8 世帯（28 人 内小学生 12 人）

28 日 午前 10 時 樟葉駅発：12 世帯（32 人 内小学生 13 人）

午後 2 時 枚方市駅発：10 世帯（29 人 内小学生 13 人）

## 9 まちづくり推進事業

まちづくり事業「歴史文化遺産の保存と活用事業」として環境スターター講座と連携し、市内まち歩きやフォトコンテストなどが実施される予定であったが、諸般の事情によりされなかった。

【予 算】5,000 円（収入実績：円）

【支 出】0 円

## 10 環境教育推進事業

環境意識の醸成は子供のころからの環境教育が重要との思いで、部会員の創意と工夫を結集して、継続的に環境出前授業を行うことが出来た。また今年度は、出前授業に掛かる負担を減らすため、学校への説明訪問や事前調整を控え、出前授業実施対象を、従来からの継続実施校と依頼を受けた小学校に限定すると共に、連絡と調整は出来るだけ電子メールにしたことで、講師と運営担当者の負担をかなり軽減することができた。

結果、実施件数は昨年より約半減したが、年間活動費は学校からの謝礼金（「枚方市学校支援社会人等指導者活用事業」を活用されている）でほぼ賄うことができた。

【予 算】170,000 円（収入実績：事業収入 62,860 円）

【支 出】77,687 円

## (1) 環境出前事業の実績

- 【実施校等】 3校：蹉跎西小学校、蹉跎小学校、禁野小学校(新規依頼校)
- 【実施件数】 9件(依頼10件の内、1件はインフルエンザで中止)
- 【実施時限数】 11時限(依頼12時限の内1時限は中止)
- 【派遣人員】 延べ43名(昨年延べ126名)
- 【対象者】 小学校児童:11クラス 延243名

月度	定例会議の開催	環境出前授業と環境啓発事業の促進・支援
4月	4/8：環境情報コーナー 9：30～12：00	・小学校44校に環境出前授業の紹介とプログラム冊子を配布 ・4/17：蹉跎西小、4/24：蹉跎小と出前授業の打ち合わせ。
5月	5/14：環境情報コーナー 9：30～12：00	・5/18：蹉跎小学校(4年2クラス：62名) テーマ「環境問題と電気エネルギーについて学ぼう」(屋内版)
6月	6/10：環境情報コーナー 9：30～12：00	・6/12：蹉跎西小学校(エコクラブ：16名) テーマ「ペットボトルから使い捨て問題を考えよう」 ・6/19：蹉跎西小学校(エコクラブ：17名) テーマ「環境問題と電気エネルギーについて学ぼう」(屋内版)
7月	7/1：環境情報コーナー 9：30～12：00	・7/10：蹉跎西小学校(エコクラブ：17名) テーマ「地球温暖化と私たちの暮らしについて考えよう」 ・7/22：「環境ミニ講座」で太陽光エネルギー体験を担当
8月	8/6：環境情報コーナー 9：30～12：00	・体験機材のメンテナンス実施(手回し発電体験教材他) ・後期環境出前授業の教材準備
9月	9/10：環境情報コーナー 9：30～12：00	・9/11：蹉跎西小学校(エコクラブ：17名) テーマ「校庭の樹木から木の役割について考えよう」(屋外版) ・9/13：禁野小学校(1年2クラス：66名) テーマ「ゴミ釣りゲームでゴミ分別を学ぼう」
10月	10/8：環境情報コーナー 9：30～12：00	・10/22：「NPOフェスタ2023」で省エネ体験コーナを担当 ・10/26：環境ミニ講座のクラフト作りに参加・学習
11月	11/12：環境情報コーナー 9：30～12：00	・11/5：「ひらエコまつり」の省エネ体験コーナーを担当 ・11/13：蹉跎西小学校(エコクラブ：16名) テーマ「校庭の樹木から木の役割について考えよう」(屋外版)
12月	12/9：環境情報コーナー 13：30～15：15	・12/11：蹉跎西小学校(エコクラブ：16名) テーマ「環境問題と電気エネルギーについて学ぼう」(屋内版)
1月	1/13：環境情報コーナー 9：30～12：00	・枚方市の環境副読本と、環境出前授業の公開原稿の登録。 ・1/29：蹉跎西小学校(予定当日の朝に急遽中止の連絡あり)
2月	2/4：環境情報コーナー 9：30～12：00	・2/10：「エコフォーラム2024」の展示・体験コーナの担当 ・2/13：蹉跎西小学校(エコクラブ：16名) 【テーマ：⑤】
3月	3/10：環境情報コーナー 9：30～12：00	・3/15：「自然エネルギー学校」参加協力。 ・「環境出前授業プログラムメニュー冊子」の印刷。

## (2) 環境啓発・環境教育ツール作成事業

今期の新しいメニューとして「地球温暖化と植物の役割」をテーマの屋内版と屋外版を完成させ、蹉跎西小学校のエコクラブで前期(屋内版)、後期(屋外版)に実施することが出来た。

また、子どもたちの理解を深めるため、電子黒板、TV等の端末機器の活用が図れるよう整備し、使用頻度の高い「手廻し発電機」や「電気エネルギー変換パネルのオルゴール」などの

教材を補充し整備を行なった。更に、子どもたちに分かりやすい説明資料（パワーポイント）や、テーマ毎の運営の手順書を作成し、誰もが講師・スタッフを出来るようにしてきた。

## 11. 人材育成事業

【予 算】 5,000 円（収入実績：0 円）

【支 出】 0 円

### (1) インターンシップ受け入れ事業

今年度も夏休み、春休みそれぞれ 10 日間程度 大学生のインターンシップを受け入れた。最初に「NPO 法人とは」「環境問題とは」を学んでもらい、次に、様々ある環境問題から、自分たちの関心があること、或は取り上げてみたい問題をインターン生全員で話し合っ決めて、その問題について調べ、話し合い、掘り下げていくという事を重ね、環境啓発に関する企画書づくりに挑戦してもらった。その他、講座や会議に参加し、会議運営を体験し、講座で実際に市民と話をする機会も設けた。これらの体験を通し環境への関心を高め、それを拡げていく方法を学んでももらった。その成果として、情報コーナーで子どもたちがいつでも体験できるクイズ BOX や、夏休みの親子ミニ講座の企画がある。

【対 象】 大学生

【期 間】 2023 年 8 月～9 月、2024 年 2 月～3 月 それぞれ約 10 日

【受入数】 夏休み期間 関西外国語大学より 2 名、龍谷大学より 1 名

春休み期間 ドットジェーピーより 2 名、関西外国語大学より 1 名

### (2) インターンシップ生フォローアップ事業

- ・ドットジェーピー主催「交流イベント」に参加し、インターン生のその後について交流。
- ・夏のミニ講座「天の川で遊ぼう」にスタッフ会員 1 名が参加協力
- ・龍谷大学のインターンシップ報告交流会に参加
- ・インターンシップ終了後の、ドットジェーピースタッフとの振り返り交流で、インターン生へのメッセージを送り、引き続き環境問題への意識継続をうながした。

## 13 その他

### ① 会員数

<2024 年 3 月 31 日現在の会員数 カッコ内は昨年同時期の会員数>

	正会員	賛助会員	計
個人	60 (62)	46 (49)	106 (111)
非営利団体	15 (15)	3 (3)	18 (18)
営利団体	2 (2)	0 (0)	2 (2)
合計	77 (79)	49 (52)	126 (131)

### ②令和 5 年度理事会の開催

#### ◎第 1 回理事会

日 時：2023 年 5 月 12 日(金) 10:30～12:25

場 所：サプリ村野 環境保全研修室

理事総数：13 名

出席者数：13 名（本人出席 8 名、委任状出席 4 名、議決権行使書 1 名）

- 議 題： 第 1 号議案 運営委員任命の件  
 第 2 号議案 2022 年度事業報告書(案)承認の件  
 第 3 号議案 2022 年度活動計算書(案)承認の件  
 第 4 号議案 2023 年度事業計画書(案)承認の件  
 第 5 号議案 2023 年度活動予算書(案)承認の件

◎第 2 回理事会

- 日 時：2023 年 11 月 13 日(月) 10：30～11：25  
 場 所：サプリ村野 環境保全研修室  
 理事総数：13 名  
 出席者数：13 名（本人出席 8 名、委任状出席 5 名、議決権行使書出席 0 名）  
 議 題：・中間事業報告  
 ・上期予算執行状況

③運営委員会の開催

回	日 程	時 間	場 所
第 1 回	2023 年 4 月 20 日 (木)	13：30～15:45	環境情報コーナー
第 2 回	2023 年 6 月 8 日 (木)	13：30～15:30	環境情報コーナー
第 3 回	2023 年 7 月 21 日 (金)	13：30～15:10	環境情報コーナー
第 4 回	2023 年 9 月 25 日 (月)	13：30～15:00	環境情報コーナー
第 5 回	2023 年 10 月 24 日 (火)	13：30～14:50	環境情報コーナー
第 6 回	2023 年 11 月 21 日 (火)	13：30～14：50	環境情報コーナー
第 7 回	2023 年 12 月 21 日 (木)	13：30～15：50	環境情報コーナー
第 8 回	2024 年 1 月 22 日 (月)	13：30～15:40	環境情報コーナー
第 9 回	2024 年 2 月 19 日 (月)	13：30～15:00	環境情報コーナー
第 10 回	2024 年 4 月 1 日 (月)	13：30～15:00	環境情報コーナー

⑤その他参加したミーティング

- ◎琵琶湖淀川流域圏連携交流会 幹事会(丸井)  
 ◎琵琶湖・淀川流域圏河川フォーラム実行委員会(丸井)  
 ◎琵琶湖・淀川・大阪湾流域圏シンポジウム実行委員会(丸井)

⑥団体・審議会等への派遣

- ◎枚方市環境審議会  
 期 間：2023 年 4 月～2024 年 3 月 派 遣：委員として 1 名(豊高)  
 ◎枚方市地域産業基盤強化奨励事業選定審査会  
 期 間：2023 年 4 月～2024 年 3 月 派 遣：委員として 1 名(丸井)  
 ◎枚方なぎさ高等学校学校協議会  
 期 間：2023 年 4 月～2024 年 3 月 派 遣：委員として 1 名(宮村)  
 ◎枚方市食育推進ネットワーク会議  
 期 間：2023 年 4 月～2024 年 3 月 派 遣：委員として 1 名(田中)

【2】. 収益事業 該当なし